

- ・経済の活性化→①少子化対策 ②定住化対策
- ・自然環境の保護→農林業の振興、水産業の振興 etc  
対馬市民のモラルを疑われる行為が多い（例：ゴミ捨て・・・）
- ・他人を思いやる心の醸成（大人から子どもに至るまで）  
社会人としての全体教育の必要
- ・自然環境をなくせば、対馬の将来はない。自然環境充実のためには、対馬の自然の特性を活かした施策づくりの必要。
- ・CATV に関し、教育に関する番組をはじめ全ての面において番組の放映時間が少ない。折角出来たのに十分に活用されていない。
  - ・医師の確保
  - ・学校統廃合
  - ・廃車不法投棄
  - ・対馬市民のモラルの低下
  - ・目保呂ダム付近でアライ熊らしき物を見たという人がいる。タヌキらしき物を見たという人がいる。（制限を条例化してほしい）
  - ・地域の絆の大切さ（条例化）
  - ・イノシシを何とかしなければ対馬の明日はない！
  - ・定住人口の定着化と交流人口の拡大→交通アクセスの整備が必要（受入れ体制も）
  - ・女性の目線で物事を考えたり、対応することが大事ではないか。
  - ・教育の充実→CATV
  - ・※重要：条例を作っても市民に浸透させなければ何のための条例か？  
条例化しても守らせるようにしなければ意味がない。  
やさしい条例でみんなが親しめる条例を。
  - ・各種の委員会をみる時、年齢構成上問題有り（20代、30代、40代、50代、60代も）
  - ・自然（廃車、廃船問題）

1

医療確保  
教育充実  
経済活性化  
環境保全  
生活向上

- ① 医療確保 (CATV)
- ② 教育充実 (CATV)
- ③ 経済活性化 (CATV)
- ④ 環境保全 (CATV)
- ⑤ 生活向上 (CATV)

# これからの対馬のカタチ

- ① (政府地) CATV  
島の中心にCATVの  
回線は... 所有に  
十分に活用されている。
- ② 自然環境は対馬の  
特長。自然環境の  
対馬の自然の持続  
とこの社会。

## 経済の活性化

## 自然環境の保護

- ① 森林業の振興
- ② 水産業の振興
- etc

高品質自然

③ 他人思いや子どもの振興  
(大がら子供にまで)  
社会での全体教育の充実

対馬のカタチ  
CATV  
生活向上  
環境保全  
経済活性化  
教育充実  
医療確保

- ・生活者（女性からの視点）からの街づくり
- ・①自然を活かした地域活性化、農林水産業を中心とした経済活性化
- ・②環境←「市民のモラル」対馬市民は不足！
- ・対馬を学ぶ
- ・地域資源を活かしたまちづくり
- ・若者の定住
- ・旧6町の壁を取り除く
- ・交流人口の拡大
- ・③海洋保護、一次産業の振興発展
- ・もてなしの心
- ・交通アクセスの整備
- ・⑤対馬の史跡を大事にする
- ・地域マネージャーを利用して、住民の意識を変える。
- ・自然を守る。
- ・一体感の醸成

おんぱん

交流のまちづくり

⑤ 対馬の歴史を大事

自然を大切に  
地域の歴史を大事に  
環境を大切に

②

一体感の醸成

# これからの対馬のために大切にしたいこと

③ 海洋保護  
漁業の振興発展

交流人口の拡大

旧6町の壁を取り除く

若者の定住

まちづくり

地域資源を活かした

対馬学を

- ① 自然を活かした地域活性化  
農林水産業を中心とした経済活性化
- ② 環境 ← 市民のモラル 構想は延!

生活者目線からの視点からの街づくり

- ・雇用、収入確保
- ・耕地、海場の有効活用
- ・自然保護
- ・森、川、海
- ・モラル低下防止（犯罪）
- ・環境美化
- ・行政に対する関心を持つべき
- ・海洋保護
- ・一次産業の振興発展
- ・思いやり

③

④  
環境・  
資源・  
エネルギー

これからの対馬のために大切にしたいこと

。海洋保護

雇用・収入確保

耕地・海場の  
有効活用

自然保護

森・川・海

モラル低下防止(犯罪)

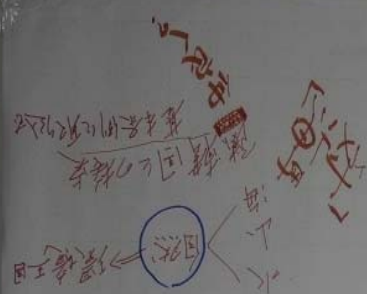
環境美化 用

行政に対する関心

を持つべき

- ・ 対馬の自然を生ず
- ・ 自給自足の農業の活性化
- ・ 自給自足の漁業の活性化
- ・ 観光資源の活用化
- ・ 水→上水
  - 下水 EM → 海 → 漁 → 経済 ← 韓国
  - し尿
- ・ S48. むつ
- ・ 対馬てん
- ・ 対州馬
- ・ 山猫
- ・ 地域の絆
- ・ 猪
- ・ 鹿
- ・ ト殺
- ・ EM菌の普及
- ・ 水、山、海→自然→環境王国
- ・ 韓国との接点 基本条例に取り込む（仲良く）
- ・ 「対海」
- ・ 対馬の自然を大切に！
- ・ 韓国に対する考え方
- ・ 韓国に対する接し方
- ・ 韓国に対する基本条例化（対馬のカラー出す）

④

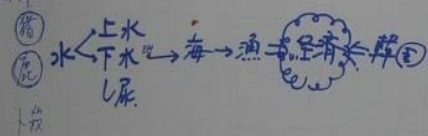


対馬自然は大切に！  
 韓国に対する考え方  
 韓国に対する接し方  
 韓国に対する条約化 (対馬の立場) <sup>基本</sup>

これからの対馬のために  
 大切にしたい事

対馬の宝

- 歴史
- 文化
- 自然
- 地産物
- 水
- 山
- 海



対馬の自然を生かす  
 自給自足の産業の活性化  
 ・ 漁業の活性化  
 観光資源の活用化



- ・ ヤマネコを保護して、観光資源にどう生かすか？
- ・ やれるところから小さなことから始める
- ・ 今の生活を守ることで精一杯
- ・ NPO 森里海再生協議会雇用した
- ・ 小浦 3つに別れている→なぜ 小学校単位ではまとめられない為
- ・ 住民の互解 市民に全てかぶせているのでは？
- ・ 小浦ダム清掃
- ・ 県の呼びかけ
- ・ 曲、南室にも水供給
- ・ 市の管理課→委託 シルバー→地域マネージャーに相談しては？
- ・ 業者の社会貢献→評価点
- ・ 清掃、草刈り要望→利用して住民巻き込み
- ・ 業者圧迫
- ・ 地区に入る、地区の皆さんと一緒にやる
- ・ 入山規制化の動き
- ・ 数年前事故（死亡災害・島外）→補償問題に
- ・ 市民が行政への関心を持つ→始まり
- ・ 外来種持込規制
- ・ イノシシ対策
- ・ 行政がするのがあたり前
- ・ 韓国人方？に対馬しかない
- ・ 韓国人を考えた基本条例
- ・ 文化財を大切に。
- ・ 島内自給率向上。
- ・ 漂着ゴミをなくす。
- ・ 対州馬の保存。
- ・ 磯焼をなくして根付資源の復活を。
- ・ 就労場所の確保。
- ・ 対馬の自然を守る。
- ・ 原発問題の抱え方
- ・ 雇用
- ・ 太陽熱、木質バイオマス、海洋温度差発電、海流



- ・ 外来種を対馬に入れない（動・植物）
- ・ 地域の絆
- ・ 間伐時に作業道は必要ない

向代時に外業道は必要ない。

地域の支那

これからの犬馬のために大切にしたいこと

外来種を  
対馬に入れない  
(動植物)

9